

七友会 だより



岩手大学人文社会科学部 七友会40周年記念同窓会 令和4年7月2日

会場 ホテルメトロポリタン盛岡本館

INDEX

遠藤会長ご挨拶	2
学長ご祝辞	3
学部長ご挨拶・ご退任の先生ご挨拶	4～5
七友会設立40周年記念同窓会を開催しました	6
2021年度評議員会での事業報告	10
2021年度会計決算報告および会計監査報告	11
2022年度事業計画・2022年度会計予算 役員改選について	12
2022年度岩手大学人文社会科学部同窓会会計予算	13
お知らせ	14

これからの予定

2023年6月17日(土) 午後2時 2023年度評議員会
アイーナ(いわて県民情報交流センター)
8階 会議室 801

岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

(連絡先) 020-8550 盛岡市上田3-18-34
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛
電話:019-621-6701 FAX:019-621-6715
Eメール: shichiyu@iwate-u.ac.jp

ホームページ

<https://jinsha.iwate-u.ac.jp/shichiyu/>

岩大 七友会

検索



ご挨拶

岩手大学人文社会科学部同窓会七友会会長
遠藤 隆

今年の盛岡は厳しい寒さが続いていて、今朝（1月30日）の中心部の最低気温は氷点下11度になりました。郊外の藪川では22度まで下がったそうです。今年は全国的に厳しい冬で、四国や九州でも積雪があった上、北陸や東北の日本海側は記録的な豪雪になった所もありました。地球規模の温暖化現象で、夏の猛暑や集中豪雨が頻発していますが、降雪や冷え込みも尋常ではなく、温暖化というのは地球のサーモスタットも不調にしているのでしょうか？

前置きはこれくらいにして…

今年度は、新型コロナの蔓延で延期されていた七友会40周年の会を、7月に開くことができました。全国各地から仲間が集まって、先生方や仲間の近況報告。またお笑い芸人になっている同窓生の村民代表南川さんのライブなどもあって、とても和やかな人社らしい同窓会になりました。小川学長は、前日農学部の北水会発足100周年の大会にも出席されていて、私はあちらの威厳や歴史の古さに比べてちょっと引け目を感じていたのですが、先生は帰り際に「温かみのある良い会でした。」とにこやかに語ってくださいました。

大学や同窓会には直接関係ないのですが、今月12日アメリカの大マスコミ、ニューヨー

クタイムスが「2023年に行きたい世界の52か所」に、ロンドンに次いで盛岡を紹介してくれて、県や市はパニックになるほど喜んでいきます。早速外国人観光客も増えています。東京から2時間余りで来られる立地の良さ。明治時代からの建造物も数多く残っていて、散歩がてら楽しめるコンパクトな観光地という事で記者が気に入ってくれたようです。盛岡がどれほど素晴らしい観光地かはさておいて、ここに住んでいると、意外に良さを見落としているということもあるのかもしれませんが。同様に、岩手大学や人社、人社同窓会も自分たちが見落としている良い面があるのだと思います。戦後、全国各地に設置された新制国立大学を「駅弁大学」などと揶揄します。岩手大学人文社会科学部は1977年に開設された駅弁大学の中でも若い学部ですが、学際的な学問探求と専門性の深化を目指す今の文系学部の主流の先鞭をつけ、学問だけでなく人格形成にも素晴らしい教育を下さっている独自性のある学部だと思います。

七友会発足50周年に向けて歩みが始まっています。そのために体制も少しずつ若返りを図って、農学部のように100周年、それ以上に続く同窓会であってほしいと思います。皆様のご協力を切にお願いします。



ご祝辞

岩手大学学長
小川 智

岩手大学人文社会科学部同窓会「七友会」の設立40周年を、心からお祝い申し上げます。

本日ここにご参集の皆様、そして関係者の皆様と共に、一堂に会して設立40周年記念同窓会が挙行できますことは、我々岩手大学に関わる教職員、学生、同窓生にとって大きな喜びであります。

岩手大学は、昭和24年（1949年）5月に、前身の岩手師範学校、盛岡農林専門学校、岩手青年師範学校、そして盛岡工業専門学校を母体として、学芸学部、工学部、農学部の3学部からなる新製の国立大学として発足しました。

この新制大学において人文社会科学部は、昭和29年（1954年）の一般教育部の設置、昭和41年（1966年）の教養部への改称を経て、昭和52年（1977年）5月に、教養部を改組し、全学の一般教養と総合化された人文社会科学系の専門教育を一体化して行う新構想の学部として創設されました。

これにより、岩手大学は総合大学としての態様が整い、現在、学部と大学院を合わせて5千名を超える学生が上田の自然豊かな一つのキャンパスで修学するという、全国でもあまり例を見ない絶好の環境に生まれ変わりました。更に、平成28年（2016年）の全学改組により、水産を学ぶ釜石キャンパスを設置し、初代学長であった鈴木重雄氏が語った、「岩手県の特徴を生かした教育により人材育成に力を注ぎたい、農学部については水産学科を設置して初めて岩手大学における農学部が完成する」とした岩手大学発足当時の思いも果たし、学びのフィールドを広げています。

令和の今、4つの学部と5つの大学院からなる岩手大学は、先輩諸氏が積み重ねてきた歴史と伝統を受け継ぎ、学術文化の創造と幅広く深

い教養と高い専門性を備えた人材の育成により、地域社会の文化の向上と国際社会の発展に貢献していく責務があります。そのために岩手大学は、地方国立大学としての使命・役割を再認識し、地域における高等教育機関、中核的学術拠点として持続可能な社会の実現と予測不能な時代を切り拓く強靱でしなやかな人材を育成し、社会に貢献していくこととしました。

そして『よりよい未来を創造する「地域の知の府」「知識創造の場」として、地域に頼られ、尊敬され、愛される大学となる』を岩手大学ビジョン2030として掲げ、「共考と協創（共に考え、協力して創る）」を行動規範とし、岩手大学総体としてビジョンの実現に向かって邁進しております。

一方で、新型コロナウイルス感染症への対応をしながらの大学運営が続いております。七友会からは毎年、人文社会科学部への助成として大学にご寄付いただいておりますが、コロナ禍において経済的に困窮する学生への支援として、更に岩手大学イーハトーヴ基金へのご寄付もいただきました。ご支援に感謝申し上げます。

七友会は、第一期生により昭和56年3月に設立され、今日に至っております。人文社会科学部の卒業生は、今年3月の卒業生で9,046名となりました。これまでの長きにわたり、卒業生、在学生及び教職員の相互の親睦と母校の隆盛を図るために組織され、取り組まれてこられたことに敬意を表します。

岩手大学はこれからも、より良い未来を創造してまいります。引き続き母校への様々な形でのご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げますとともに、七友会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉いたします。

横山学部長ご挨拶



人文社会科学部
学部長 横山 英信

七友会の皆様には本学部の教育・研究に変わらぬ御支援を頂いていますこと、感謝申し上げます。昨年7月には七友会設立40周年記念同窓会が盛大に開催されました。これを結節点として、貴会が本学部卒業生の人生の歩みにおける大切な拠り所としての役割をさらに発揮されることを期待しています。

さて、本学部の教育理念が「専門深化と総合化」であることは皆様御周知のところですが、これがどのように具体的な形で現れるかを私の経験から述べてみます。

私は学生時代、某大学の経済学部在籍しており、同学部では他学部の開講科目のうちで同学部の単位として認定される「他学部科目」の1つとして法学部の「民法」が置かれていました。しかし、「他学部科目」の趣旨についての説明が一切なかったこともあり、私は民法が他学部科目であることの意味を理解できず、民法は履修しませんでした。

しかし、後に大学院に進んで専門の農業政策を研究する中で、土地制度・農産物取引制度などに関係する法制度の勉強も行わざるを得なくなり、その時に民法とくに財産法は経済取引のルールの中核になっているものであること、民法の理解を抜きにし

「総合化」教育プログラムが気づかせてくれる「各学問分野間の繋がり」とそれがもたらす「専門深化」

て経済を研究することはできないことに気がつき、「他学部科目」として民法が置かれていた意味をはじめて理解しました。

また、資本主義経済の発展の中で契約者間の力関係が対等ではなくなってくると、民法の「契約自由の原則」は社会のルールとして必ずしも適切ではなくなり、それゆえ、労働関係法や独占禁止法などの「特別法」によって「一般法」たる民法の「原則」が修正されることにも気づき、経済学を学ぶに際しては法学もきちんと学ぶ必要があり、それが経済のいっそう深い分析に繋がることを理解しました。

このようなことはどの学問分野でもあると思います。しかしながら、文学部・法学部・経済学部などの旧来型の学部の教育では「各学問分野間の繋がり」や、各学問分野を総合的に学ぶことでそれぞれの学問分野をいっそう深く学べることは、なかなか気がつきにくいところでもあります（大学院になってようやく気がついたという私の経験は、もちろん私自身の理解能力の問題によるところが大きいことも確かですが）。

しかし、「専門深化と総合化」の教育理念を教育プログラムに反映させている本学部ではそれが可能ですし、物事を多角的・総合的に考えるという能力は社会的実践力そのものでもあります。ここに確信を持って、これからも「専門深化と総合化」を軸にした学部教育を進めていきたいと存じます。

ご退任の先生ご挨拶



人間文化課程
教授 白倉 孝行

定年退職を迎えて

私が岩手大学に赴任したのは、1993年（平成5年）です。ちょうど、人社に第3のコース（環境情報コース）ができて、一期生が入学した年で、そこに1人目の教員として赴任しました。ちなみに2人目が遠藤先生で3人目が五味先生です。赴任して分かったのは、なかなか事情は複雑だということでした。当時、科学論の進藤先生と生物の菅原先生を中心に環境情報コースが構想され立ち上がりましたが、数学、物理、化学の先生方には、理系コースを諦めきれない先生方がたくさんいました。しかし、自分たちの学生を持てるようになった喜びは大きく、教員が学生とともにいろいろな行事を行い楽しく過ごしたことが思い出されます。

環境情報コースも5、6年経過し、人社の中の理系

コースとして高校側にも認知され、優秀な学生も増えてきたなと思っていたら、人社の改組が議論され始めました。平成12年度改組です。改組により、人社は4課程制（人間、国際、法経、環境）となり、環境情報コースの環境部分は環境科学課程に、情報部分は人間科学課程の人間情報コースに分かれます。

まだ私の岩大30年の半分も書いておりませんが、紙面の都合上字数制限がありますので、最後に研究について触れたいと思います。情報科学的な研究について、前半は「連想記憶モデルとその反学習効果」、後半は「間接的互惠性による協力関係の構築」となります。後半部分については、総合科学基礎という講義でオンデマンド動画を作りましたので、そのリンクを示します。

<https://youtu.be/9TMkJVDBDBk>

コロナを理由に最終講義をカットしましたので、その代わりと言っては何ですが、興味のある方は上記の動画をご視聴いただければと思います。長い間、本当にありがとうございました。



人間文化課程
教授 栗林 徹

定年退職を迎えて

1983年4月に岩手大学教育学部に赴任して以来40年間、研究・教育さらにバスケットボールの指導に従事することができました。同僚の先生方や事務の方々に恵まれ、大過なく務めることができました。お礼申し上げます。

2016年、人文社会科学部にスポーツ科学プログラムが発足することになり移動いたしました。7年間でしたが、人社の皆様には歳を食った古参の新人に優しく接していただき、安寧に過ごすことができました。

私にとっても、2011年3月の東日本大震災は大きな

出来事でした。4月から学生支援部門会議（今は廃止されています）の委員長をお引受けすることになっていました。いち早く、学生の力を被災地に届けたいと考え、多くの方々とともに事前研修会などの準備に取り掛かり、4月6日から運動部学生を中心とするボランティアを被災地に派遣することができました。困難な状況の中、事務の方々にはバスや昼食の手配などを多くのご負担をおかけしました。お世話になりました。

ラスト3年間はバスケットボール部の指導に力を入れようと考えたのですが、新型コロナ感染症により十分な活動が出来なかったことが心残りです。

4月以降も非常勤講師として、健康・スポーツやスポーツ科学プログラムの講義を受け持ち、学部学生やプログラム在学生の教育にご協力したいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。



人間文化課程
教授 遠藤 教昭

岩手大学での教員生活を振り返って

岩手大学での教員生活に同期した印象的なできごとを振り返ると、やはり「東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）」と「Covid-19 感染症」だと思います。

「東日本大震災」は、研究の国際性が重要だということに再認識させてくれました。大震災が起きた時には、世界中の国々から日本に多くの支援をいただきました。私は大震災後、以前から行っていた空間情報科学の研究内容を、震災情報学に向けて大きくシフトしました。そして、研究によって明らかになった震災後の日本の復興状況を、世界の皆様にご報告するのが研究者としての義務だと感じていました。そこで、飛行機嫌いのため（鼻腔が狭く耳管が細いため、気圧の変化で時として激痛が襲います）ほぼ完全に敬遠していた国際学会に数多く出席して、研究発表による世界に向けた情報発信を行い、あくまでも自分比ではありますが、研究生活の充実度が向上しました。

その効果かどうかはわかりませんが、その後、以前より多くの留学生が研究生、そして大学院生として当研究室に来日し、今年度も4名の大学院生と2名の研究生を担当し

ています。

もう一つの重大インシデント、2020年以降の「Covid-19 感染症」の蔓延により、一時はほとんどすべての授業がオンラインとなり、自分の授業のリストラチャリング（再構築）を余儀なくされました。わたしは授業における「語り」には自信がなく、自分の授業を録画して見たことは皆無でした。語りに自信がないので始めのうちは、音声合成（コンピュータ音声）を入れて授業ビデオを作成していましたが、自分で見ても決して満足のいくものではありませんでした。

ただ、その後少し慣れたころ、「一人 WebEX」を行って授業内容を収録すれば、ある程度ですが立派なオンデマンドビデオ教材が作成可能なことに気づきました。ハイブリッド授業での収録も同様な方法で簡単です。余計な機材は必要なく、シンプルな構成が一番だと思いました。この方法で自分の授業を振り返ることが容易になり、下手は下手なりに改訂を重ねて、よりわかりやすくレベルアップした授業を行うことが可能になりました。

このように辛い経験を寧ろプラスに変えることができる環境を、約29年の長期に渡りご提供いただいた岩手大学に、深く感謝を申し上げて稿を終わらせていただきたいと思います。そして今後も何らかのかたちで研究と教育に携わって行きたいと考えております。



人間文化課程
教授 松岡 和生

定年退職を迎えて

創設時、本学部は人文・社会・科学の3学問領域からなる文理融合の総合学部であり、私が学んだ行動科学研究講座もまた心理学、

社会学、文化人類学の3分野から学際的に人間行動にアプローチするという新しいスタイルの教育カリキュラムが謳われていました。新学部創設のパンフにあったその説明に大変魅力を感じ、強く心動かされた私は、紆余曲折はありましたが、結局のところ在籍中の大学を中退し、本学部三期生として入学することになります。当時の人社学部はまさに草創期であり、第一期生から続くドタバタ感のある力オス的な活況のなか、何やら自由な雰囲気にも満ち溢れていて、私はそのなかで「学問」と自分の「道」を見つけることができたのでした。卒後、

大学院と私大勤務を経てほぼ10年後、母校に赴任することになり、それからあっという間に30年の月日が流れました。

私の専門は認知心理学、認知科学です。特に空想・想像思考、夢見、幻覚など、「オフライン知覚」としてのイメージネーション認知能力について研究してきました。まさに文理融合の研究分野であり、今では悪夢や幻覚の治療における臨床適用から外科医の手術の事前シミュレーション、絵画やアニメの創作活動、VRやメタバースの開発に至るまで幅広く学際的な応用が期待されています。進展の著しい研究分野ですが、学生時代に出会った研究テーマを今に至るまで継続的に追い続けることができましたことはこの上なく幸せなことであったと考えております。

私が受けた教育がそうであったように、本学部が学生たちにとって、今後も自由で楽しく、それぞれの人生にウェルビーイングをもたらす自己実現の場であることを切に願っている次第です。

七友会設立40周年記念同窓会を開催しました

1981年3月の設立以来41周年を迎えた2022年7月2日（土）、1年延期をしていた念願の同窓会を開催しました。地元のメンバーを中心とした実行委員会は、新型コロナウイルスの感染状況をにらみつつ、2020年8月から11回の会議を重ね、リアル参加を決定しました。

当日は、小川智岩手大学学長はじめ8名の来賓をお迎えし、66人の同窓生が盛岡のホテルメトロポリタン盛岡に集いました。開会前に、参加者全員による写真撮影の後、物故された教職員や会員への黙祷を捧げました。司会は、36期の相澤侑佳さんが務めました。プロのアナウンサーかと思わせるようなスムーズで気配りの行き届いた進行を行ってくれました。遠藤隆会長の挨拶に続き、小川学長、松林城弘人文社会科学部副学部長から祝辞を頂戴した後、2021年11月に瑞宝中綬章を受章された細江

達郎名誉教授のご挨拶をいただきました。なお、2017年に瑞宝中綬章を受章された三田地宣子名誉教授からのメッセージも披露されました。来賓紹介の後、初代会長で1期の落安昭三さんの乾杯で懇親会がスタート。新型コロナ感染防止のため、テーブルの人数を減らし、アクリル板を立てるなどの対策をしながらテーブル毎に和やかに懇親を深めました。また、遠藤会長が制作した懐かしいDVD上映、各期代表による近況報告もあり、会場の雰囲気も柔らかくなったところに、36期でお笑い芸人の村民代表南川さんが満を持して登場し、会場を一層盛り上げてくれました。後半には、サプライズで歴代会長への感謝の花束贈呈もあり、最高潮に盛り上がったところで、元合唱団委員長で1期の稲垣秀悦副会長の指揮で学生歌を斉唱し、また、10年後の再開を約束して散会となりました。



開会準備始めます！



準備万端でお迎えします



開会宣言



小川智学長



遠藤隆会長

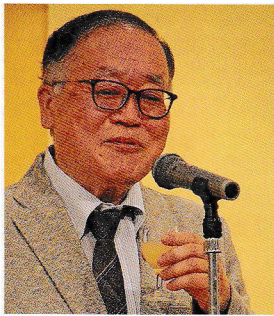


小川学長ご祝辞

遠藤 隆（1期）：実行委員会を始めたときには既にコロナ禍の真っ最中。どうなることかと思いましたが、1年延期をして、結局皆さんの笑顔を見ることが出来てハッピーハッピーです。次の45周年か50周年を楽しみにしています。頼むよ！後輩君！！



全員集合!!リハーサルはマスク着用で



落安顧問



佐原顧問



細江先生おめでとうございます

稲垣 秀悦（1期）：実行委員会で、延期するならいつにするかで意見が分かれ、1年延期すると決めた日のことを鮮明に覚えています。なんの制限もなくまた集まれるようになるのだろうか。参加者のみなさん、そして実行委員の皆さんもお疲れ様でした。

中野 玲子（1期）：久々に会えたみんなの笑顔。コロナ禍だから貴重だったね。また会う日を楽しみに。



落安顧問の音頭で乾杯！



学生歌斉唱



落安 昭三（1期）：久しぶりに恩師、同期、後輩に会い、楽しいひと時を過ごすことができました。また、お会いしましょう。

藤原 育子（1期）：各期近況報告やテーブル毎の交流で、皆さん笑顔の会が完成。和やかない会だったと繰り返し思い出します。

藤村 紀行（1期）：無事にできてほっとしました。実行委員は交代制にした方がいいのでは？卒業後30年前後の人々にしてもらおうとかルールするのもいいと思った。

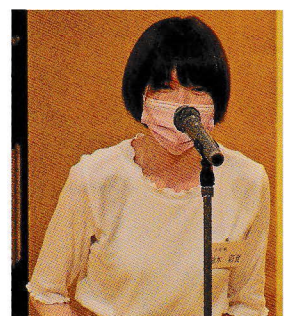
塩田 勝美（1期）：今回の設立40周年会合は思い出に残るものとなりました。新型コロナウイルス禍で1年遅れての開催となったこと、移動制約で、事前準備に関わり切れなかったこと。次回は、学部設立45周年で開催出来たらいいですね。皆様元気でまたお会いしましょう!!



相澤さんの名司会



笑顔で近況報告



ご来賓の皆様ありがとうございました



松林副学部長ご祝辞



近況報告は各期で最も遠方からの参加者



相澤 文恵（1期）：40周年記念同窓会が、コロナ禍にありながら皆様のご協力が無事に開催できたこと、多くの同窓生にご参加いただいたこと、心より感謝申し上げます。

大澤 雅昭（1期）：岩手大 七友会で久々に 逢える喜び 永遠に続けと

晴山 農（1期）：当日のみの手伝いになってしまいましたが、参加者の皆さんに楽しんでいただけて良かったです。



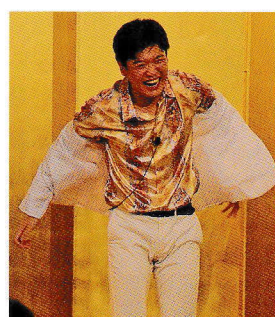
同期仲間 ～会話が弾みます～



1期入学生のみなさん

長澤 秀則（3期）：「勇気」をもって実行委員になり、参加者の笑顔を見て「貢献感」を感じました。すべての皆さんに感謝です！

大志田 研（6期）：コロナウイルス感染症が拡大し、開催を伸ばすか、WEBで開催できるなど、やるかやらないかなど揉めましたが、何とか開催出来て良かったと思います。設立40周年では、教授や昔の仲間にお目にかかれ、会話ができたなど、本当に良かったと思います。



エンジン全開 村民代表南川さんのお笑いライブは笑いの渦



歴代会長へ花束贈呈 初代落安会長



2代目 佐原会長



3代目 遠藤現会長



実行委員は縁の下の力持ち



勢揃い

余裕で臨機応変な相澤さん

吉田 真二（7期）：コロナ禍で先行き不安ながら1年の延期を決めました。丁度、波の谷間にあって開催できホッとしました。また、「次回開催」を意識して画像、映像の記録を残すことができました。次回はコロナに関係なく、大勢が集まれるといいですね。

相澤 侑佳（36期）：七友会設立40周年という記念すべき年に、記念同窓会の司会をさせていただき、とても良い経験となりました。ありがとうございます。



高橋 享孝（6期）：オンライン開催もやむなしと考えた時期もありましたが、リアル開催を実現できて本当に良かったです。

山本 尚江（7期）：実行委員としての活動を通して、諸先輩方と交流できたことは貴重な体験でした。また、同窓会当日の参加状況から、1期生の方々の団結の強さを実感いたしました。



実行委員と村民代表南川さん



お疲れさまでした



三田地宣子先生のお祝いメッセージ



人社創設から45年。第一回生はもう60代半ばと聞くと、創設時の苦労が改めて思い出されます。しかし、あの苦労があったから皆さんに会えたのですから、こんな嬉しいことはありません。

思えば、この長い間を、私は「これからが、これまでを決める」という言葉に向きあって生きて

来ました。これからの生き方こそが大事だということ。この言葉は、真宗大谷派（東本願寺）の山門に掲げられているものといいます。皆さんの中にも、この言葉を噛みしめて生きる人がきっといるでしょう。それを楽しみに、私も頑張ることにいたします。

実行委員会で撮影した 写真を頒布します

CD 1枚に100枚程度の写真を保存しており、価格は、1枚1,000円（予定 送料込み）です。ご希望の方は、次の方法でお申し込みください。

- ・申込方法 Eメール 件名を「同窓会CD申込」としてください。
- ・宛先 shichiyu@iwate-u.ac.jp
- ・その他 申込をいただいた方には、5月中旬に七友会事務局から個別に代金の支払い方法などのご連絡を差し上げます。
- ・記載内容 名前 期別(卒業年度) 住所 電話番号
- ・締切り 2023年4月28日(金) 15時

2021年度評議員会での事業報告

1. 2021年度も、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、活動制限を余儀なくされました。評議員会もやむなく会場参加、オンライン参加、書面表決によるハイブリッド開催としました。
2. 会報「七友会だより」は、第50号を2021年4月5日に、第51号を2022年3月15日に発行しました。
3. 七友会設立40周年記念同窓会の準備のため、実行委員会を2回開催しました。
4. 昨年、ホームページをリニューアルしたことから、内容の充実を図っています。

2021度のおもな活動は次のとおりです。

2021年4月7日（水） 岩手大学入学式 中止

5月24日（月） 第23回岩手大学同窓会連合理事会（メール会議）

～5月28日（金） 議題1. 令和2年度事業報告（案）について

議題2. 令和2年度決算（案）について

議題3. 令和3年度事業計画（案）について

議題4. 令和3年度予算（案）について

議題5. 卒業生・修了生と学長との懇談会（第13回）について

議題6. 同窓会連合に支部会員を加えることについて

議題7. 次期会長等の選出について

報告1. 各学部同窓会活動報告について

報告2. 岩手大学の財務状況について（状況報告）

遠藤会長、鈴木護幹事 出席

6月19日（土） 2021年度評議員会

議題1：2020年度事業報告、会計決算報告

議題2：2021年度事業計画（案）、会計予算（案）

その他

6月21日（月） 岩手大学人文社会科学部長往訪（評議員会報告）

遠藤会長、稲垣副会長、中野理事 参加

6月28日（月） 岩手大学農学部リンゴ『はるか』誕生のモニュメント除幕式

遠藤会長 出席

9月18日（土） 岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会（第13回）

遠藤会長 出席

2022年2月3日（木） 40周年記念同窓会第5回実行委員会開催

遠藤会長ほか9名参加

来賓、会費、案内方法、次第を決定

3月2日（水） 40周年記念同窓会第6回実行委員会開催

遠藤会長ほか9名参加

役割分担の詳細を決定

3月22日（火） 岩手大学人文社会科学部定年退職教員記念品贈呈

遠藤会長 手交

3月23日（水） 岩手大学学位記授与式

卒業・修了後の住所届の提出依頼・回収（各プログラム）

2021年度会計決算報告および会計監査報告

今回の会計監査については、新型コロナウイルスの影響で引き続き県境をまたいだ移動に制限があったことから、相澤監査員に監査を実施していただいております。

2021年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計決算報告

一般会計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
会 費	4,280,000	4,280,000	0	214名
前 年 度 繰 越 金	3,007,508	3,007,508	0	
特 別 会 計 より 繰 入	-	0	0	
雑 収 入	22	39	17	39 (利息)
合 計	7,287,530	7,287,547	17	

<支出の部>

項 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1. 事 業 費	4,580,000	4,198,795	381,205	
1) 会 報 発 行	3,450,000	3,278,795	171,205	
ア. 印 刷 費	2,050,000	2,002,873	47,127	第50号印刷862,813 第51号印刷、封筒印刷、封筒入れ作業1,140,060
イ. 郵 送 費	1,400,000	1,275,922	124,078	第50号郵送費645,328 第51号郵送費630,594
2) 会 員 活 動 援 助 費	50,000	0	50,000	
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	0	42期分積立
4) 支 部 援 助 費	50,000	0	50,000	
5) 文 化 事 業 補 助	50,000	0	50,000	
6) 寄 附 金	500,000	500,000	0	学部への奨学寄附金50万円
7) 同 窓 会 連 合 負 担 金	300,000	300,000	0	同窓会連合会費
8) 諸 費	80,000	20,000	60,000	退職教職員記念品代等
2. 会 議 費	350,000	29,926	320,074	
1) 評 議 員 会 会 議 費	200,000	17,697	182,303	評議員会郵送代等
2) 諸 会 議 費	150,000	12,229	137,771	40周年記念同窓会実行委員会会場費等
3. 事 務 費	1,000,000	144,085	855,915	事務用品、振込手数料等
4. 特 別 積 立 金	-	-	-	
5. 雑 費	100,000	100,000	0	事務謝金7万円、アルバイト料3万円
6. 学 部 設 立 50 周 年 記 念 積 立	-	-	-	
7. 同 窓 会 設 立 40 周 年 記 念 積 立	-	-	-	
8. 予 備 費	1,257,530	1,177	1,256,353	データ保存料
合 計	7,287,530	4,473,983	2,813,547	

差引残高 2,813,564 円は、2022年度に繰越いたします。

特別会計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
前 年 度 繰 越 金	42,397,696	42,397,696	0	
新 規 積 立 金	100,000	100,000	0	卒業記念品贈呈費
利 息	3,504	862	△ 2,642	利息 (451+216+127+68)
合 計	42,501,200	42,498,558	△ 2,642	

<支出の部>

項 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1. 一般会計へ繰出	-	0	0	
2. 積 立 金	42,501,200	42,498,558	△ 2,642	年度末積立金額=翌年度繰越金額
1) 特 別 積 立 金	26,600,800	26,599,052	△ 1,748	26,598,601(前年度決算)+451(利息)
2) 卒 業 記 念 積 立	4,475,370	4,475,229	△ 141	4,375,013+216(利息)+100,000(新規積立)
3) 学 部 設 立 50 周 年 記 念 積 立	7,402,950	7,402,462	△ 488	7,402,335+127(利息)
4) 同 窓 会 設 立 40 周 年 記 念 積 立	4,022,080	4,021,815	△ 265	4,021,747+68(利息)
合 計	42,501,200	42,498,558	△ 2,642	

会計監査報告

2021年度の決算について監査を行い、正しく処理されていることを確認いたしました。

2022年5月31日

監査員 相 澤 文 恵 ㊞

2022年度事業計画

1. 七友会設立40周年記念同窓会は、2022年7月2日（土）に開催します。
〔開催内容〕 開催予定日時：2022年7月2日（土）14時から
会場：ホテルメトロポリタン盛岡本館
2. 会報「七友会だより」については、年1回の発行とし内容の充実を図ります。
3. 会員名簿の充実と事務機能の強化を図る必要があることから、引き続き事務担当者の採用やアルバイトの採用等その方策を検討します。
4. 引き続き年間予算の収入と支出の均衡を図りながら予算の執行を行います。
5. 今年度も岩手大学同窓会連合の会長を七友会の遠藤会長が務めています。監事には稲垣副会長が就いています。（任期は2023年6月まで）

2022年度会計予算

1. 七友会設立40周年記念同窓会を開催することから、特別会計の同窓会設立40周年記念積立から3百万円を一般会計に繰出しています。
2. 今年度は、評議員会をハイブリッド開催としていることから、開催に見合う予算を計上しています。

役員改選について（任期2022年6月～2024年6月）

2022・2023年度 七友会役員（案）（敬称略・順不同）

役 職	氏 名(入学期)	新任・再任
会 長	遠藤 隆（1）	再
副会長	足立 慎悟（7）	再
同	吉田 真二（7）	再
同	内堀 哲（8）	再
同	稲垣 秀悦（1）	再
理 事	大澤 雅昭（1）	再
同	晴山 農（1）	再
同	藤村 紀行（1）	再
同	黒沢 成（1）	再
同	高嶋 才司（2）	再
同	夏井 正悟（4）	再
同	大谷 敬（4）	再
同	松岡 和生（3）	再
同	佐藤 伸樹（6）	再
同	栗林 健司（7）	再
同	佐藤 泰（7）	再
同	小野澤章子（ ）	再

役 職	氏 名(入学期)	新任・再任
同	新田 浩喜（5）	再
同	高橋 享孝（6）	再
同	中野 玲子（1）	再
同	大志田 研（6）	再
同	門傳 英慈（5）	再
同	長澤 秀則（3）	再
同	中村 喜一（2）	新
監査員	小檜山 修（3）	再
同	工藤 康身（8）	再
同	相澤 文恵（1）	再
幹 事	鈴木 護（ ）	再
会 計	稲垣 秀悦（兼任）（1）	再
同	中野 玲子（兼任）（1）	再
顧 問	落安 昭三（1）	再
同	塩田 勝美（1）	再
同	佐原 和典（1）	再
同	横山 英信（学部長）	新

※清野理事は退任いたします。

その他

コミュニケーションツールに係る今後の活用方法について

ホームページをリニューアルしたことから、ホームページを会員間のコミュニケーションツールとして活用します。

2022 年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計予算

一 般 会 計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
会 費	3,740,000	4,280,000	新入生171名、編入生12名、在学生4名
前 年 度 繰 越 金	2,813,564	3,007,508	
特 別 会 計 よ り 繰 入	3,000,000	-	同窓会設立40周年記念事業
雑 収 入	36	22	利息 (2021年度39円)
合 計	9,553,600	7,287,530	

<支出の部>

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
1. 事 業 費	5,980,000	4,580,000	
1) 会 報 発 行	1,850,000	3,450,000	年1回(第52号)発行予定
ア. 印 刷 費	1,200,000	2,050,000	
イ. 郵 送 費	650,000	1,400,000	
2) 会 員 活 動 援 助 費	50,000	50,000	親睦会、交流会等の補助
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	43期分積立
4) 支 部 援 助 費	50,000	50,000	支部大会援助等
5) 文 化 事 業 補 助	50,000	50,000	就職ガイダンス等の補助
6) 寄 附 金	500,000	500,000	人文社会科学部へ奨学寄附金
7) 同 窓 会 連 合 負 担 金	300,000	300,000	同窓会連合年会費
8) 同窓会設立40周年記念事業費	3,000,000	-	
9) 諸 費	80,000	80,000	慶弔費、退職教職員記念品等
2. 会 議 費	350,000	350,000	
1) 評 議 員 会 会 議 費	200,000	200,000	評議員会諸経費等
2) 諸 会 議 費	150,000	150,000	七友会設立40周年事業関連会議費等
3. 事 務 費	500,000	1,000,000	事務用品、40周年記念同窓会通信費、データ管理、HP維持費等
4. 特 別 積 立 金	-	-	
5. 雑 費	100,000	100,000	事務謝金、アルバイト料
6. 学部設立50周年記念積立	-	-	
7. 同窓会設立40周年記念積立	-	-	
8. 予 備 費	2,623,600	1,257,530	
合 計	9,553,600	7,287,530	

特 別 会 計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	42,498,558	42,397,696	
新 規 積 立 金	100,000	100,000	卒業記念品贈呈費
利 息	802	3,504	2021年利息額862
合 計	42,599,360	42,501,200	

<支出の部>

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
1. 一 般 会 計 へ 繰 出	3,000,000	-	同窓会設立40周年記念事業費
2. 積 立 金	39,599,360	42,501,200	
1) 特 別 積 立 金	26,599,500	26,600,800	26,599,052+448 (利息)
2) 卒 業 記 念 積 立	4,575,440	4,475,370	4,475,229+211 (利息) +100,000 (新規積立額)
3) 学部設立50周年記念積立	7,402,590	7,402,950	7,402,462+128 (利息)
4) 同窓会設立50周年記念積立	1,021,830	4,022,080	1,021,815+15 (利息)
合 計	42,599,360	42,501,200	

イーハトーヴ基金

岩手大学イーハトーヴ基金から同窓会連合への依頼がありました。

コロナ禍で学生は仕送りが打ち切られたり、アルバイト収入が減って苦境に立たされた人も少なくありませんでした。そこで卒業生を中心に寄付を積み立てているイーハトーヴ基金から困窮学生に対する支援が行われました。

このように、キャンパスへの貢献をしている基金ですが、卒業生の情報が途絶えているケースが多く基金はなかなか増えません。大学では、卒業生の情報収集のために(株)Alumnoteと契約したシステムを導入することについて、同窓会連合に賛同を求めました。Alumnoteは東京大学発のベンチャー企業で、信頼できる企業であること。また、4学部の同窓会とも同窓生の消息はきちんと把握しておらず、大学が得た情報を提供してくれるということもあって、同窓会連合としてこれに賛同しました。

今後、大学からは寄付募集の目的や目標を明確化するため、創立80周年(2029年)に向けて「(仮称)目的・目標を検討する会」(例：留学支援、食堂整備、講堂建設など)が教員と同窓生をメンバーとして設置される予定です。イーハトーヴ基金充実のため皆様のご協力をお願いいたします。

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓生の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに下記連絡先情報により七友会へお知らせ下さい。

連絡先情報

ふりがな	卒業 専攻	期(年 月卒 研究 ゼミ等)	封筒にある整理番号 No. _____
氏名 (男・女)			
現住所 〒			
(自宅) TEL FAX	携帯	勤務先名等(可能な限り)	
E-mail			
家族等連絡先 〒			

大学の動向

今年の卒業式は、感染症対策を実施した上で令和5年3月23日(木)に人文社会科学部・農学部と教育学部・理工学部の二つのグループに分けて二部制で岩手県民会館大ホールにて行われます。今回から各家庭保護者2名までの入場が可能です。

入学式も同様に二部制で令和5年4月7日(金)に岩手県民会館大ホールで保護者2名の入場制限を設けて行われます。

卒業式、入学式ともに式当日に出席できなかった方々のために式典の様子がインターネットでライブ配信されます。詳しくは大学のホームページをご覧ください。

訃報

名誉教授 齋藤 博次 氏(享年68歳) 令和5年2月5日 ご逝去

【ご経歴】 昭和60年3月 筑波大学大学院文芸・言語研究科修士課程
修了
昭和60年4月 岩手大学人文社会科学部助手
昭和62年4月 岩手大学人文社会科学部講師
平成2年10月 岩手大学人文社会科学部助教授
平成14年10月 岩手大学人文社会科学部教授
令和2年3月 定年退職
【専門】 アメリカ文学・アメリカ文化

ご冥福をお祈りいたします

編集後記

今回は、1年開催を延期して実施しました七友会設立40周年記念同窓会を特集しました。ご出席いただいたご来賓の方々、遠方から駆けつけてくれた同窓生の皆さんに実行委員から感謝申し上げます。昨年このページでお伝えした、ロシアのウクライナへの侵攻から1年が経過し、戦闘は長期化の様相です。トルコ・シリア大地震では死者が5万人を超えました。「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」宮沢賢治の言葉です。